

**JPNG****NPO Japan-Papua New Guinea Association**

第9回 Toktok会

主催：特定非営利活動法人 日本・パプアニューギニア協会

～パプアニューギニアの蝶を観光資源に～

当協会では、PNGに関する話題について話す会『Toktok会』を開催しています。

今回は、PNGの蝶について当協会会員の古谷俊爾氏にお話いただきます。

写真のブルーに光る蝶はPNGでは「ウリッセス」と呼ばれ、親しみと同時にある種畏敬の念を以て敬われているようです。30メートルもの高空を矢の如く跳び、熱帯の強烈な陽射しを跳ね返すブルーの輝きはまるで「稲光」です。一度見たら眼底にしっかり焼付いて生涯忘れる事はないでしょう。この蝶の雄は又挑戦的で自分と同じように光る相手には敏感に反応します。予め腰のポケットに数センチ角の銀紙を忍ばせ、肉眼では点にしか見えない高空の雄に向かって「チラッ」と開示するや、突然、体をかする迄の近さに急降下、恋敵と勝手に決めて挑んできます。

600とも700とも云われるPNG部族の伝統的な踊り「シンシン」で踊る女性は「山の香水」で化粧仕上げを行います。エボディアと呼ばれる「ミント」の様な、結構刺激的だが、新鮮な香りの葉を体に塗りつけます。彼女たちは山でエボディアを見つけると根ごと持ち帰り家の周囲に植えるようです。このエボディアこそ「ウリッセス」の食草です。生垣代に植えられたエボディアを求めて「ウリッセス」メス蝶が産卵にやって来ます。POM郊外ソゲリ辺りでも「ウリッセス」が多く飛ぶ付近には大抵エボディアが植わってました。

実は、この蝶の羽を利用した「お土産」や「ウリッセス」見学ツアーを実現したいと私は願っています。オーストラリアのケアンズでは、観光客相手に「ウリッセス」見学ツアーが人気メニューだそうです。PNGとの関わりが強いトクトクの皆さんには、かねがねご紹介したいと思っておりました。「乞・ご期待」です。



古谷 俊爾 (フルヤ シュンジ) 氏

1939年12月25日生まれ。早稲田大学法学部卒業後、曙ブレーキ工業(株)入社。1993年から1996年まで同社 取締役 国際部長兼法務部長、2000年に退任。2000年から2010年の間にJICAシニアボランティアとしてタイ、PNG環境保全省(DEC)、パキスタンに赴任。

日本蝶類学会会員 (会員番号：2129)

著述 (PNG 関連)：日本蝶類学会機関紙バタフライズ 2010年12月「PNG環境保全省の蝶画ビジネス」

日本蝶類学会機関紙バタフライズ 2011年10月「ニューブリテン島に美麗極珍のデアスを求めて」

2016年2月25日(木)

場所 航空会館

東京都港区新橋一丁目18番1号 TEL：03-3501-1272

- JR新橋駅 日比谷口 徒歩5分
- 地下鉄 東京メトロ銀座線・都営浅草線 新橋駅 ⑦出口 徒歩5分
- 地下鉄 都営三田線 内幸町駅 A2出口 徒歩30秒

参加費 (当日会場にて承ります)

【講演会 & 懇親会】 会 員：3,000円 非会員：5,000円
(当日、会員になって頂いた方 参加費+年会費：8,000円)

【講演会のみ参加】 会 員：1,000円 非会員：3,000円
(当日、会員になって頂いた方 参加費+年会費：6,000円)

受付開始 17:20 開会 18:00
懇親会 20:00から



お申し込み

当協会事務局

E-mail: info@jpng.or.jp

TEL: 03-5216-3555 FAX: 03-5216-3556

FAXでのお申し込みは裏面をご利用ください。

ボランティア募集

Toktok会担当委員は、当会の運営にあたり皆様のボランティア参加を求めています。お問い合わせは担当理事 原まで。原 晃 mail: a.hara@jpng.or.jp